



平成30年11月1日現在

| | |
|------|---------|
| 総世帯数 | 1,434世帯 |
| 総人口 | 2,619人 |
| 男 | 1,233人 |
| 女 | 1,386人 |

自然災害と松本

宮村二丁目 村松 武夫

近年、異常とも思われる自然災害が全国各地で頻繁に起きています。

昨シーズンの冬は全国的に気温が低く、西日本では昭和61年以来で最も低く、この影響で松本地方も水道管の破裂が例年に比べ倍近く発生したそうです。7月には台風7号と梅雨前線停滞の影響による集中豪雨で、西日本を中心に河川の氾濫や浸水害、土砂災害等で甚大な被害が発生したのも記憶に新しいものです。

7月、8月には松本地方も35℃超えの猛暑日が19日もあり、猛烈な暑さとなりました。又、例年より数多くの台風が立て続けに日本を襲い、高潮や大雨・猛烈な強風により、多くの犠牲者や家屋の被害に見舞われました。

一昔前までは、梅雨の時期はしとしとと長雨が続き、夏はせいぜい32℃程度と、今思



えば一昔前のほうが過ごし易かったように思えます。このような異常気象は地球の温暖化が原因とされていますが、頻繁に起こる異常気象は今後当たり前になってしまつたのでしょうか。

9月6日には北海道胆振東部地震が発生し、震度7を記録して広範囲にわたり土砂崩れが起こり、多くの犠牲者や家屋に被害が発生したのも、つい2か月程前の事です。

その時あなたは？

北源地町会 牛丸 一利

2011年6月30日
午前8時16分 震度5強

松本地震の発生です。私はオートバイでの移動中、横から突き飛ばされたような衝撃を感じ急停車。すぐ横の店舗のウィンドガラスが割れて道路に散乱。何が起きたのか直ぐに察知できず家に帰り家族の安否確認。その後の対応、消防団活動と息する暇もなく一日が終了。あとで考えると「もつと他に大切なことがあったかも？」とか「常日頃行われる町会、地区、各団体

松本地方は全国各地で起きている異常気象や甚大な災害に比べ、影響は少なかつたと言えます。信州は山で囲まれ標高も高いおかげか、住みやすい県と言えましょう。

しかし、「災害は忘れた頃にやってくる」の通り、わが街松本も油断はできません。いざという時のために、普段から防災に関心を持ち、防災用具や避難について準備をし、日頃から地域や隣近所のコミュニケーションをとっておきましょう。

の防災訓練が生かされていたのかな？」と考えました。防災訓練での安否確認、消火訓練、給水訓練、炊き出し等、条件のいい中で行われます。行動出来てあたり前な事です。その中で毎年繰り返すことの大切さ、一度でも見れば、聞いていけば、いざその時思い出し行動に移せる大切な訓練です。長野県は、これからの30年以内に震度6以上の地震が来る確率は13%以上あります。その時自分の身を守り家族の心配をし、自助、共助、公助、しっかりとできますか？ 私は思います。その時私は何をすべきか。その時あなたは？...



松本地震 多賀神社の被害状況

健康ウォーキング大会 in 諏訪

諏訪湖ウォーキングコースにて、松本先生を講師に招き、16名で約7kmを楽しく歩いてきました。



まずは準備体操



さあレッツウォーキング



姿勢よく足上げて



松本先生
ありがとうございました

第21回第二地区文化祭

平成30年11月10・11日

微雨降る10日も文化祭の盛り上がりとともに太陽が顔を出し、11日は朝から好天気。天気にも恵まれました。文化薫る2日間でした。



今回が初出演の『コジャレ』の皆さんです。結成6ヶ月とか。オカリナ、ギター、チャランゴの合奏を楽しませてくれました。『小洒落な仲間』がグループ名の由来だそうです。



市政懇談会開かる

錦町 青柳 孝明

去る九月十九日、六年振りに第一地区公民館にて『市政懇談会』が開かれた。市長、副市長及び部長四名が訪れ、住民側から杉浦第二地区連合会長はじめ約六十名が出席。

市長挨拶の後、同じく市長から『松本のまちづくり』の取組みなどの講話が。市の財政状況、市立博物館市役所新庁舎建設促進などの説明に続き、『町会役員』のなりて不足、『国政調査の調査対象』『市道拡幅』の三項目について懇談が行われ、これらについて担当部長から説明があった。

長野県十八市内の内、微増ながら人口増加となったのは松本市のみ(平成二十四年実施国政調査結果)と言う市長の話が印象的だった。

長野県十八市内の内、微増ながら人口増加となったのは松本市のみ(平成二十四年実施国政調査結果)と言う市長の話が印象的だった。

すすき川

『春はあけぼの...』で始まる枕草紙は、『秋は夕暮れ。夕日のさして山の端いと近うなりたるに...』と四季を愛でます。

秋。太陽暦では9

月から11月、太陰暦では7月から9月までの3ヶ月を称する1年で3番目の実りの季節です。昔から人々は秋の夕焼けは翌日が晴れる前兆と信じ、『秋の夕焼け鎌を研げ』と声をかけ合って収穫の準備を行ったといえます。私たちがこの時季に持つ高揚感、そんなDNAによるものなのかもしれません。こんな恵みの秋に感謝です。今年松茸が多く採れたと聞きました。

11月10日、11日は地区の文化祭でした。展示コーナーには力作がならび『芸術の秋』を堪能し、昼食にはお蕎麦をいただいて『食欲の秋』が満たされて、ステージ発表では日頃の鍛錬による『芸の実り』を感じて、秋を満喫した2日間になりました。

『...いと寒きに火などおこして炭もて渡るも、いとつくづきし...』という冬の到来も間もなくです。今年の冬は寒いかな?と気になります。(井野根)